

令和 6 年度大学院入学試験問題（所要時間 60 分）

博士後期課程 仏教学専攻 宗学コース A 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

Ⅰ、設問資料は、京都本満寺所蔵の日蓮聖人の代表的著作の真蹟対照本の一節である。この資料をもとに、次の問に答えなさい。

(1) この真蹟対照本を作成した人物の院号と日号、および校合場所を記しなさい。

(2) 本書の遺文名、著作年（和暦・西暦）、著作地を記しなさい。

(3) 設問資料 A 「 」の箇所を現代語訳しなさい。

令和6年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 宗学コース A 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

【設問資料】

著作権上の都合により非公開

出典：乾師真蹟対照本「開目抄」（本山本満寺発行）58～59頁

11、次の設問から一つを選んで解説しなさい。（選択した設問の番号に○印をつけること）

- (1) 寛正の盟約 (2) 安土宗論 (3) 慶長法難 (4) 身池対論

令和 6 年度大学院入学試験問題（所要時間 60 分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース A 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ①サンスクリット語（梵語）	評 点	
----------	--	--------	--	--------	----------------------	--------	--

【辞書使用可】

問題 次の文章は『法華経』(*Saddharmapuṇḍarīka-sūtram*) 如来寿量品 (*Tathāgatāyuspramāṇa-parivartaḥ*) 中の一節である。
文章を読んで設問に答えなさい。（解答用紙は別紙。なお、連声により音が変化している場合があるので注意すること。）

tataḥ kulaputrās tathāgata upāyakaśalyena teṣāṃ sattvānām
(1)===== (2)=====

durlabhaprādurbhāvo bhikṣavas tathāgata iti vācam vyāharati sma /
(3)===== (4)=====

tat kasya hetoḥ /
(5)=====

tathā hi teṣāṃ sattvānām bahubhiḥ kalpakoṭīnayutaśatasahasrair api
(6)=====

tathāgatadarśanam bhavati vā na vā /
(7)=====

tataḥ khalvahaṃ kulaputrās tadārambaṇam kṛtvaivaṃ vadāmi /
(8)~~~~~ (9)~~~~~ (10)=====

durlabhaprādurbhāvā hi bhikṣavas tathāgatā iti /
(11)~~~~~

- 問 1 下線部 (1)(2)(3)(4)(5)(6) の各語の、語幹、格・数・性、意味を記しなさい。（略号を用いてよい。）（配点：6×6＝36 点）
解答例：nadīnām → nadī-, G. pl. f.（または「女性・複数・属格」）「諸々の河川の」
- 問 2 下線部 (7)(10) の動詞の、語根、法・時制、人称・数・態、意味を記しなさい。（配点：10×2＝20 点）
解答例：nayasi → √nī-, Indic. Pres. 2. sg. P.（または「直説法・現在時制、二人称・単数・バラスマイパダ」）「導く」
- 問 3 下線部 (8)(9)(11) は、それぞれ 連声（sandhi）による音変化を起こしたものである。
連声を起こしていない形に直しなさい。（配点：8×3＝24 点）
解答例：(yadyapi となっているとき →) yadi api
- 問 4 問題文の要旨を述べなさい。（配点：20 点）

令和 6 年度大学院入学試験問題（所要時間 60 分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース A 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ①サンスクリット語（梵語）	評 点	
----------	--	--------	--	--------	----------------------	--------	--

【辞書使用可】

解 答 用 紙

問 1 下線部 (1)(2)(3)(4)(5)(6) の各語の、語幹、格・数・性、意味を記しなさい。（略号を用いてよい。）（配点：6×6＝ 36 点）

解答例： nadīnām → nadī-, G. pl. f.（または「女性・複数・属格」）「諸々の河川の」

- (1) upāyakaśālyena
- (2) sattvānām
- (3) bhikṣavas
- (4) vācam
- (5) hetoḥ
- (6) bahubhiḥ

問 2 下線部 (7)(10) の動詞の語根、法・時制、人称・数・態、意味を記しなさい。（略号を用いてよい。）（配点：10×2＝ 20 点）

解答例： nayasi → √ nī-, Indic. Pres. 2. sg. P.（または「直説法・現在時制、二人称・単数・パラスマイパダ」）「導く」

- (7) bhavati
- (10) vadāmi

問 3 下線部 (8)(9)(11) は、それぞれ 連声（sandhi）による音変化を起こしたものである。

連声を起こしていない形に直しなさい。（配点：8×3＝ 24 点）

解答例：（ yadyapi となっているとき → yadi api

- (8) khalvahaṃ
- (9) kṛtvaivam
- (11) tathāgatā iti

問 4 問題文の要旨を述べなさい。（配点： 20 点）

令和 6 年度大学院入学試験問題（所要時間 60 分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース **A 一般**（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ②漢文	評 点	
----------	--	--------	--	--------	------------	--------	--

次の文章は、南宋の法雲編『翻譯名義集』の一節である（大正新脩大藏經 第 54 卷 1125 頁下段 6 ～ 27 行目。一部、圈点・表記を改めた箇所がある）。これを読み、下記の問いに答えなさい。

著作権上の都合により非公開

- 問 1 下線部（1）〔原書 1125 頁下段 12 行目の「云何…不盡」〕について、書き下し文（もしくは現代日本語文）にきなさい。
- 問 2 下線部（2）〔原書 1125 頁下段 14 ～ 17 行目の「寧受…名故」〕について、書き下し文（もしくは現代日本語文）にきなさい。
- 問 3 下線部（3）に見える「三不善法」は、諸仏典においていくつかの説示がなされるが、一説をあげて説明しなさい。
- 問 4 全文の大意を記しなさい。

【以下、解答欄（裏面も使用可）。いずれも問いの番号を明記して解答すること。】

令和 6 年度大学院入学試験問題 (所要時間 60 分)

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース A 一般(長期履修含む)・留学生

受験 番号	氏 名	科 目	専 門 ③仏教史・仏教文化	評 点
----------	--------	--------	------------------	--------

③以下の事項 a.～f.のうち二つを選択し、必要な解説を記しなさい。

- a. 広隆寺弥勒菩薩半跏像 (宝冠弥勒) b. 根本説一切有部 c. 三十二相八十種好 d. 雲崗石窟
e. 阿弥陀聖衆来迎図 f. 清凉寺式釈迦如来像

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

令和 6 年度大学院入学試験問題（所要時間 6 0 分）

博士 後 期 課 程 仏 教 学 専 攻 宗 学 コー ス **A 社会人** (長期履修含む)

受 験 番 号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
------------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

Ⅰ、日蓮聖人の『開目抄』に関して、次のキーワードをすべて網羅する形で解説しなさい。

〈キーワード〉撰述の背景、主師親三徳、知罪、不退転の誓願、法華経の信心、慨嘆、折伏

Ⅱ、次の設問から一つを選んで解説しなさい。（選択した設問の番号に○印をつけること）

- (1) 寛正の盟約 (2) 安土宗論 (3) 慶長法難 (4) 身池対論

令和 6 年度大学院入学試験問題（所要時間 6 0 分）

博士 後 期 課 程 仏 教 学 専 攻 仏 教 学 コース

A 社会人（長期履修含む）

受 験 番 号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
------------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

問 1 次の A～D より 1 つを選び、400 ～ 500 字程度で記述しなさい。

- A 中観思想の説明
- B 中国南北朝時代後半期ないし隋時代における仏教教学思想の概観的説明
- C 本覚思想の説明
- D 地域（インド、西域、中国、日本等）・時代を適宜に定め、それに該当する仏教関係の遺跡もしくは遺物（仏像等）に関する学術的説明

問 2 あなたの研究について、

- ① これまで（修士論文等）の研究テーマとその概要
- ② これから（博士後期課程）の研究テーマと選定の理由
- ③ ②の年次計画、予想される成果、独自性について、全体を 400 ～ 500 字程度で記述しなさい。

【以下、解答欄（裏面も使用可）。いずれも問いの番号・記号を明記して解答すること。】

令和6年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 宗学コース C 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

Ⅰ 資料1頁・資料2頁をもとに、次の設問に解答すること。（資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

（1）A「」の部分について、句読点をほどし判読すること。

（2）この資料が執筆された経緯を記すこと。

（3）この資料の『昭和定本日蓮聖人遺文』における名称と執筆地を記すこと。

名 称

執筆地

Ⅱ 次の①～④から二つ選び解説すること。

① 靈鷲院日審 ② 雑乱勸請 ③ 王仏冥合 ④ 衣座室の三軌

番号

番号

著作権上の都合により非公開

出典

『日蓮聖人真蹟集成』（法蔵館編集・発行・昭和52年）
第1巻 233頁・234頁・235頁

資料 2 頁

著作権上の都合により非公開

出典
『日蓮聖人真蹟集成』（法蔵館編集・発行・昭和52年）
第1巻 233頁・234頁・235頁

令和 6 年度大学院入学試験問題（所要時間 60 分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース C 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ①サンスクリット語（梵語）	評 点	
----------	--	--------	--	--------	----------------------	--------	--

【辞書使用可】

問題 次の文章は『法華経』(*Saddharmapuṇḍarīka-sūtram*) 観世音菩薩普門品 (*Samantamukha-parivartaḥ*) 中の一節である。文章を読んで設問に答えなさい。（解答用紙は別紙。なお、連声により音が変化している場合があるので注意すること。）

ye mohacaritāḥ sattvāḥ, te 'valokiteśvarasya bodhisattvasya mahāsattvasya
 (1)===== (2)~~~~~ (3)=====
 namaskāraṃ kṛtvā vigatamohā bhavanti |
 (4)===== (5)===== (6)===== |
 evaṃ maharddhikaḥ kulaputra avalokiteśvaro bodhisattvo mahāsattvaḥ ||
 (7)===== (8)~~~~~ ||
 yaśca kulaputra avalokiteśvarasya bodhisattvasya mahāsattvasya putrakāmo
 (9)~~~~~
 mātṛgrāmo namaskāraṃ karoti, tasya putraḥ prajāyate
 (10)===== (11)=====
 abhirūpaḥ prāsādiko darśanīyaḥ | putralakṣaṇasamanvāgato bahujanapriyo
 manāpo 'varopitakuśalamūlaśca yo dārikām abhinandati tasya dārikā prajāyate
 (12)===== (13)=====

問 1 下線部 (1)(3)(4)(7)(12) の各語の、語幹、格・数・性、意味を記しなさい。（略号を用いてよい。）（配点：4×5＝20 点）

解答例：nadinām → nadi-, G. pl. f.（または「女性・複数・属格」）「諸河川の」

問 2 下線部 (5)(6)(10)(11)(13) の動詞の、語根、法・時制、人称・数・態、意味を記しなさい。

準動詞の場合は、語根、準動詞の種別、意味を記しなさい。（略号を用いてよい。）（配点：8×5＝40 点）

解答例：nayati → √nī-, Indic. Pres. 3. sg. P.（または「直説法・現在時制、三人称・単数・パラスマイパダ」）「導く」

解答例：āgaccha → ā-√gam-, Impv. 2. sg. P.（または「命令法、二人称・単数・パラスマイパダ」）「来なさい」

問 3 下線部 (2)(8)(9) は、それぞれ 連声 (sandhi) による音変化を起こしたものである。

連声を起こしていない形に直しなさい。（配点：8＋8＋4＝20 点）

解答例：(yadyapi となっているとき →) yadi api

問 4 問題文の要旨を述べなさい。（配点：20 点）

令和 6 年度大学院入学試験問題（所要時間 60 分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース C 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門/解答用紙 ①サンスクリット語（梵語）	評 点	
----------	--	--------	--	--------	---------------------------	--------	--

解 答 用 紙

【辞書使用可】

問 1 下線部 (1) (3) (4) (7) (12) の各語の、語幹、格・数・性、意味を記しなさい。（略号を用いてよい。）（配点：4×5＝20 点）

解答例：nadīnām → nadī-, G. pl. f.（または「女性・複数・属格」）「諸河川の」

(1) sattvāḥ

(3) mahāsattvasya

(4) namaskāraṃ

(7) kulaputra

(12) dārikām

問 2 下線部 (5) (6) (10) (11) (13) の動詞の語根、法・時制、人称・数・態、意味を記しなさい。

準動詞の場合は、語根、準動詞の種別、意味を記しなさい。（略号を用いてよい。）（配点：8×5＝40 点）

解答例：nayati → √nī-, Indic. Pres. 3. sg. P.（または「直説法・現在時制、三人称・単数・パラスマイパダ」）「導く」

解答例：āgaccha → ā-√gam-, Impv. 2. sg. P.（または「命令法、二人称・単数・パラスマイパダ」）「来なさい」

(5) kṛtvā

(6) bhavanti

(10) karoti

(11) prajāyate

(13) abhinandati

問 3 下線部 (2) (8) (9) は、それぞれ 連声（sandhi）による音変化を起こしたものである。

連声を起こしていない形に直しなさい。（配点：8＋8＋4＝20 点）

解答例：（yadyapi となっているとき →）yadi api

(2) te 'valokiteśvarasya

(8) bodhisattvo mahāsattvaḥ

(9) yaśca

問 4 問題文の要旨を述べなさい。（配点：20 点）

令和 6 年度大学院入学試験問題 (所要時間 60 分)

博士後期課程 仏 教 学 専 攻 仏 教 学 コース C 一般（長期履修含む）・留学生

受験番号	氏名	科目	専門 ③仏教史・仏教文化	評点
------	----	----	-----------------	----

③以下の事項 a.～f.のうち二つを選択し、必要な解説を記しなさい。

- a. 飛鳥寺式の伽藍 b. 朝鮮三国における仏教受容 c. インドにおける無仏像の時代から仏像の出現へ
d. 大仏様（天竺様） e. 宿院仏師 f. 華鬘

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

令和6年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース C 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門（解答用紙） ②漢文	評 点	
----------	--	--------	--	--------	------------------	--------	--

〔問題〕次の文は、東晋の官人・文人である郗超（郗嘉賓）の『奉法要』の一節である（梁・僧祐撰『弘明集』巻13所収。大正新脩大藏經 第52巻 87頁下段14行目～88頁上段1行目。一部、圈点を改めた箇所がある）。これを読み、下記の問いに答えなさい。

著作権上の都合により非公開

- 問1 下線部の「當念財物珍寶生不持來死不俱去」の意味するところを説明しなさい。
- 問2 下線部の「身不久存物無常主」の意味するところを、「常主」の語に留意して説明しなさい。
- 問3 下線部の「苟能每事思忍則悔悵消於見世福報顯於將來」の意味するところを説明しなさい。
- 問4 この文章の大意を記しなさい。
- 問5 東晋／五胡十六国時代の仏教について、〈法華經〉〈涅槃經〉の語を用いながら、略説しなさい。

【以下、解答欄（裏面も使用可）。問いの番号を明記の上で解答すること。】

令和 6 年度大学院入学試験問題 (所要時間 60 分)

博士後期課程 仏教専攻 C 一般(長期履修含む)・留学生

受 験 番 号		氏 名		科 目	英 語	評 点	
------------	--	-----	--	-----	-----	-----	--

【辞書使用可、電子辞書も可】

〔問題〕 下記の英文を和訳しなさい。

著作権上の都合により非公開

(出典 : John S. Strong, *The Legend of King Aśoka : A Study and Translation of the Aśokāvadāna*, Motilal Banarsidass, Delhi, 1989, p.3, 117 – p.4, 116.)

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

令和 6 年度大学院入学試験問題（所要時間 6 0 分）

博士後期課程 仏 教 学 専 攻 宗 学 コース C 社会人(長期履修含む)

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

Ⅰ 次の資料をもとに、①～③の設問に解答すること。（資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

著作権上の都合により非公開

出典『昭和定本日蓮聖人遺文』（立正大学日蓮教学研究
所編・身延山久遠
寺発行・昭和63年）
第2巻1479頁

① A 「」の部分を現代語訳すること。

② この資料が執筆された経緯を記すこと。

③ この資料の『昭和定本日蓮聖人遺文』における名称と執筆地を記すこと。

名 称

執筆地

Ⅱ 次の①～④から二つ選び解説すること。

① 靈鷲院日審 ② 雑乱勸請 ③ 王仏冥合 ④ 衣座室の三軌

番号

番号

令和 6 年度大学院入学試験問題（所要時間 6 0 分）

博士後期課程 仏 教 学 専 攻 仏 教 学 コース C 社会人（長期履修含む）

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

問 1 次の①～⑧から 2つを選び、各々200字程度で解説しなさい。

- ① 常不軽菩薩 ② 初期経典 ③ 仏塔崇拜 ④ 釈道安 ⑤ 闍提成仏
⑥ 台密の成立 ⑦ 重源 ⑧ 大蔵経

問 2 あなたの研究について、

- ① これまで（修士論文等）の研究テーマとその概要
② これから（博士後期課程）の研究テーマと選定の理由
③ ②の年次計画、予想される成果、独自性
について、全体を400～500字程度で記述しなさい。

【以下、解答欄（裏面も使用可）。問いと○の番号を明記の上で解答すること。】